

仕様書

1. 総則

この仕様書は、救急救命東京研修所（以下「研修所」という。）の食堂に設置する食券管理システムの賃貸借に係るリース契約の内容について定める。

2. 概要

(1) 件名

食券管理システムの賃貸借

(2) リース物件及び数量

①	ホストコンピュータ	1台
②	帳票管理PC	1台
③	券売機	1台
④	ICカード端末機	4台
⑤	POSレジスタ	2台
⑥	各ハードウェアに付随するソフトウェア	1式

(3) リース契約期間

平成29年4月1日から平成34年3月31日まで（5年間、60回払い）

(4) リース物件納入場所

東京都八王子市南大沢4丁目5番地 一般財団法人救急振興財団 救急救命東京研修所

(5) リース物件の設置期限

平成29年4月1日までに納入及び設置（配線工事、ソフトウェアの設定を含む）する。

3. 基本要件

別紙「ハードウェア及びソフトウェア要件」参照のこと。なお、ハードウェア設置作業、ソフトウェアの設定、操作説明は納入業者が代行すること。

4. その他

- (1) 設置、保守及び撤去作業を行う場合には、事前に許可を得ること。
- (2) 研修所担当者及び食堂運営者に操作説明、教育を行うこと。
- (3) 設置時に梱包材は全て回収のこと。
- (4) 納入機器一覧表及び操作説明書（ハードウェア・ソフトウェア・設定情報含む）については、紙媒体及び電子媒体を各一部納品すること。
- (5) この仕様書に明記のない事項、または疑義が生じた場合は、研修所担当者と打ち合わせを行い、その指示に従うこと。

(別紙)

ハードウェア及びソフトウェア要件

I 基本要件

1. 基本方針

券売機、ICカード端末機、POSレジスタでの現金・ICカードの使用状況を一元化された帳票で出力可能とする。

また、各端末の状態がホストコンピュータで閲覧可能となり、データ及び機器の管理を一括してホストコンピュータで行う。

2. システム基本事項

- (1) システムにパスワードを設定し、第三者のデータアクセスを禁止し、情報の漏洩を防止する。
 - (2) 分散処理方式により、マスタ情報をホストコンピュータと各端末で相互利用可能にし、データをホストコンピュータで一元管理できる。
 - (3) 定期的にホストコンピュータのデータについて、外部の記憶装置上にバックアップを行う。
 - (4) 当研修所が作成した研修生情報・付加されない金額等のマスタ情報をホストコンピュータに取り込み、ICカードと関連付けさせることにより新規のICカードの発行及びICカードの利用が可能となる。
 - (5) 発行されたICカードはICカード端末機及びPOSレジスタで利用可能とする。
 - (6) ICカードの金銭価値はホストコンピュータのデータによって決定されるため、カード紛失時の再発行やカード運用停止を容易に行うことができる。
 - (7) ICカードの残高は以下の場合にICカード端末機及びPOSレジスタで自動チャージ可能とする。
 - ① 当研修所があらかじめ設定した日付以降に初めてカードを投入したとき。
 - ② 当研修所があらかじめ設定した金額を下回ったカードを投入したとき。
 - ③ その他任意のタイミングで事務所PCからチャージ又は減算操作したとき。
 - (8) ICカードを持たない職員等は現金対応の券売機での食券購入とする。
 - (9) POSレジスタでは以下の支払方法が可能とする。
 - ・ 現金
 - ・ ICカード
 - ・ クレジットカード
 - ・ 電子マネー(iD)
- ※ クレジットカード及び電子マネーのリーダ装置は本システム外の機器となる。したがって、POSレジスタにクレジットカード及び電子マネー利用金額を別途打ち込む動作が必要になる。

II ソフトウェア

1. ホストコンピュータ

(1) マスタ情報登録ソフト

① 研修期間毎に設定される以下の情報を登録する。

- ・ 研修期間番号
- ・ 研修期間
- ・ ICカードチャージ日付
- ・ ICカードチャージ金額

② 研修生毎に設定される以下の情報を登録する。

- ・ 研修期番号
- ・ 研修生識別番号
- ・ 研修生氏名

※ 登録はあらかじめ作成された CSV 形式のデータの取り込みによって行う。

③ 券売機、ICカード端末機、POSレジスタに登録される商品のコードを登録する。

(2) ICカード新規発行ソフト

① マスタ情報登録ソフトで登録された研修生情報を元に新規カードを発行する。

② カード紛失時、代替の新規カードを発行し、紛失カードを無効にする。

(3) 自動券売機メニュー編集ソフト

① 自動券売機の価格及び、券面の編集を行う。

② 時間帯での売り切れ制御を設定する。

③ 作成したメニューデータの送信を行う。

(4) 誤購入取消ソフト

① ICカードによる誤購入時は、取消操作により誤購入分の再チャージが可能とする。

(5) POSレジスタメニュー編集ソフト

① POSレジスタに使用されるメニュー名及び、価格の設定を行う。

② ICカード購入可能商品の登録を行う。

③ 作成したメニューデータの送信を行う。

(6) 機器監視ソフト

① 券売機、ICカード端末機、POSレジスタの各装置情報を随時取得しホストコンピュータの画面に表示する。表示する主な内容は以下のとおり。

- ・ 接続状態
- ・ 紙切れ状態
- ・ カード詰まり等の情報
- ・ 釣銭切れ状態(※券売機のみ)

2. 帳票管理PC

(1) 帳票管理ソフト

- ① 券売機、ICカード端末機、POSレジスタより売上データを取得する。
- ② 研修期間ごとの券売機、ICカード端末機、POSレジスタの売上日報・月報を出力する。
- ③ 商品コード別の売上を出力する。
- ④ システム上で各研修生のカード利用状況を閲覧できる。

3. ICカード端末機

- (1) 有効なICカードが認識されるとICカード端末機メニュー編集ソフトで作成されたメニュー情報を表示する。また、ICカードに係る次の内容を表示できる。
 - ・ 研修生識別番号 ・ 研修生氏名
 - ・ カード有効期限 ・ 最終利用日付
 - ・ 最終利用金額 ・ 残高金額（ICカード残高、研修期間中残高）
- (2) 購入されたメニューの金額をホストコンピュータ管理のデータから減算する。また、購入記録をホストコンピュータに残す。
- (3) 購入されたメニューの食券を発行したら、待ち受け画面に遷移する。
- (4) 食券用の用紙が不足した場合はホストにその旨を通知し、ICカード端末機を使用不可にする。
- (5) アイドル状態が一定時間続くと省エネのため、スリープ状態にする。
- (6) 毎日指定された時間に自動的に起動、シャットダウンを行う。

4. POSレジスタ

- (1) 現金、ICカード、クレジットカード、電子マネー(iD)での支払が可能とする。
- (2) ICカードで利用可能なメニューは、あらかじめメニュー編集ソフトで設定できる。
- (3) バーコードリーダーによる商品の読み取りが可能とする。
- (4) 全体の購入金額のうち現金、ICカード、クレジットカード、電子マネー(iD)から、それぞれいくら充当するか、レジスタ上で調整可能とする。
- (5) 有効なICカードが認識されると、ICカードに係る次の内容を表示できる。
 - ・ 研修生識別番号 ・ 研修生氏名
 - ・ カード有効期限 ・ 最終利用日付
 - ・ 最終利用金額 ・ 残高金額（ICカード残高、研修期間中残高）
- (6) ICカード使用時は使用金額を残高から減算しホストコンピュータのデータを更新する。
- (7) 誤購入時に取消操作が可能とする。
- (8) ICカードによる誤購入時は、取消操作により誤購入分の再チャージが可能とする。
- (9) レジスタの操作記録は操作ごとに記録される。
- (10) 券売機及びICカード端末機と同じメニューを登録でき、レシートプリンタより食券を発行可能とする。

Ⅲ ハードウェア

1. 機器全般

- (1) ホストコンピュータは停電に備えて無停電装置(UPS)を必ず装備すること。
- (2) 各端末のオペレーティングシステム及びデータベースソフトは汎用性と安定性を兼ね備えたものとする。

2. ホストコンピュータ

(1) 装置構成

- ① パソコン本体 1式
 - CPU: Core i5 以上
 - メモリ: 4GB 以上
 - HDD もしくは SSD: 32GB 以上
 - 解像度: XGA 以上
 - ネットワーク 100BASE-TX/10BASE-T
- ② 液晶ディスプレイ (12インチ以上) 1台
- ③ 外付けファイルサーバー 1台
- ④ カード装置 1台
 - 印字方式: 非接触 I C 方式
 - 印字文字種: 漢字 JIS 第1・第2水準・英数カナ
 - インターフェイス: USB2.0 以上

(2) その他

- ① USB インターフェイスを装備すること。
- ② アンチウイルスソフトをインストールすること。
- ③ 24時間起動が可能であること。
- ④ バックアップによるデータ保護を行えること。

3. 帳票管理PC

(1) 装置構成

- ① パソコン本体 1式
 - CPU: Core i5 以上
 - メモリ: 4GB 以上
 - HDD もしくは SSD: 32GB 以上
 - 解像度: XGA 以上
 - ネットワーク 100BASE-TX/10BASE-T
- ② 液晶ディスプレイ (12インチ以上) 1台
- ③ 帳票出力プリンタ 1台

4. 券売機

(1) 機種

芝浦自販機株式会社製 KAΣ164NNF（もしくは同等の機能を有するもの）

(2) 紙幣・硬貨仕様

① 使用貨幣

紙幣：2,000円 / 1,000円

硬貨：500円 / 100円 / 50円 / 10円

② つり銭

硬貨：500円 / 100円 / 50円 / 10円 ホッパー式（自動供給、還流式）

(3) 発券仕様

① 用紙：感熱ロール紙（57.5mm×300m）×2巻

② 給紙方式：オートローディング方式

③ 切替方式：ダブルロール機能（口座別切替方式、シングル方式、リレー方式）

④ 券サイズ：57.5mm×21、30、39、48、57、87mm

(4) 接客パネル

① 口座数：ボタン64口座＋カラータッチパネル4口座（最大68口座）

② 押しボタン 運用にあわせてフリーレイアウト

(5) その他機能

① 通信機能（券売機の売上データをパソコンから抽出できること）

② 領収書発行機能付

③ 両替機能付

(6) 外形寸法等

① 外形寸法：650mm(W)×300mm(D)×1591mm(H) ヒンジ含む（最大突起部 85mm）以下の

② 重量：約124kg

(7) 数量

1台

5. ICカード端末機

(1) 筐体部

外形寸法：440mm(W)×350mm(D)×1400mm(H)（転倒防止板含む）

以下の各機器が筐体内に収納できるもの

(2) 装置構成

① 液晶ディスプレイ（タッチパネル式、15インチ以上） 4台

OS: Windows® 7 Professional for Embedded Systems 32bit 以上

CPU: Intel® Atom E3845 同等

メモリ: DDR3 2GB 以上

ネットワーク 100BASE-TX/10BASE-T

- ② カード装置 4台
印字方式：非接触 I C 方式
インターフェイス：USB2.0 以上
- ③ サーマルプリンタ 4台
印字幅：80mm
印字方式：サーマル式
印字文字種：漢字 JIS 第1・第2水準 英数カナ
オートカッター：パーシャルカット（1点切り残し）
インターフェイス：USB2.0 以上

6. POSレジスタ

(1) 装置構成

- ① 液晶ディスプレイ（タッチパネル式、15インチ以上） 2台
OS: Windows® 7 Professional for Embedded Systems 32bit 以上
CPU: Intel® Atom E3845
メモリ: DDR3 2GB 以上
ネットワーク: 100BASE-TX/10BASE-T
- ② カード装置 2台
印字方式：非接触 I C 方式
インターフェイス：USB2.0 以上
- ③ サーマルプリンタ 2台
印字幅：80mm
印字方式：サーマル式
印字文字種：漢字 JIS 第1・第2水準 英数カナ
オートカッター：パーシャルカット（1点切り残し）
インターフェイス：USB2.0 若しくはイーサネット
- ④ カスタマディスプレイ 2台
- ⑤ キャッシュドロア 2台
- ⑥ バーコードスキャナ装置（ハンドスキャナー） 2式